

e-Learning

講義名	講師	時間	内容
[第0回] イントロダクション	西内啓	約60分	データ活用とはどのようなものでビジネスにおいてどのように役立つのか、その上でなぜ全てのビジネスマンにデータリテラシーが必要なのかを学ぶ
[第1回] データ活用の設計方法		約45分	そもそもどのような領域でデータ活用を行うべきか「事例の模倣」を超えてゼロベースで自らプランニングできるスキルを身につける
[第2回] 分析結果の批判的吟味		約45分	データに基づかない「経験と勘」やデータ分析結果の鵜呑みを避けて建設的な意見交換ができる土台となる批判的吟味の考え方を学ぶ
[第3回] データのまとめ方(記述的分析)		約60分	データ分析の初歩となる記述的分析についてグラフの使い分けや基本的な統計指標についてその意味と使い方を学ぶ
[第4回] クロス集計と仮説検定(診断的分析①)		約60分	記述的分析から一步踏み込み、診断的分析の基本となるクロス集計と統計的仮説検定の考え方を学び「誤差に惑わされない比較」を行えるようになる
[第5回] 回帰分析(診断的分析②)		約60分	数値と数値の間の関係性を分析する単回帰分析からはじまり診断的分析で中心的な役割を果たす広義の回帰分析(回帰モデル)について学ぶ
[第6回] 予測的分析の考え方(予測的分析①)		約60分	データから作り出した予測モデルを用いて予測的分析を行うとはどういうことか予測的分析の結果を評価し運用するために理解すべき予測精度の指標を学ぶ
[第7回] 機械学習手法の特性(予測的分析②)		約60分	代表的な機械学習手法についてその背景にある考え方および回帰モデルと比べたメリットやデメリットについて学ぶ
[第8回] まとめ		約45分	第1～7回での内容の総まとめを行います

コンテンツ提供スケジュール

1ヶ月目

[第0回] イントロダクション
[第1回] データ活用の設計方法
[第2回] 分析結果の批判的吟味

2ヶ月目

[第0回] イントロダクション
[第1回] データ活用の設計方法
[第2回] 分析結果の批判的吟味
[第3回] データのまとめ方(記述的分析)
[第4回] クロス集計と仮説検定(診断的分析①)
[第5回] 回帰分析(診断的分析②)

3ヶ月目

[第0回] イントロダクション
[第1回] データ活用の設計方法
[第2回] 分析結果の批判的吟味
[第3回] データのまとめ方(記述的分析)
[第4回] クロス集計と仮説検定(診断的分析①)
[第5回] 回帰分析(診断的分析②)
[第6回] 予測的分析の考え方(予測的分析①)
[第7回] 機械学習手法の特性(予測的分析②)
[第8回] まとめ

4ヶ月目

[第0回] イントロダクション
[第1回] データ活用の設計方法
[第2回] 分析結果の批判的吟味
[第3回] データのまとめ方(記述的分析)
[第4回] クロス集計と仮説検定(診断的分析①)
[第5回] 回帰分析(診断的分析②)
[第6回] 予測的分析の考え方(予測的分析①)
[第7回] 機械学習手法の特性(予測的分析②)
[第8回] まとめ

段階的にコンテンツを提供することで無理なく学習進度を深めます
(全コンテンツは3-4ヶ月目に視聴可能)



第1回 第1節 イントロダクション なぜデータ分析を行うのか ✓

第1回 第1節 イントロダクション なぜデータ分析を行...

第1回 第2節 「データ活用の設計」とは ✓

第1回 第3節 データ分析の3つの視点 ✓

📄 コンテンツテスト

第1回 第1節 イントロダクション なぜデータ分析を行うのか

データドリブンに意思決定する会社は生産性が5-6%高い

Strength in Numbers: How Does Data-Driven Decisionmaking Affect Firm Performance?

33 Pages • Posted: 24 Apr 2011 • Last revised: 12 Dec 2011

[Erik Brynjolfsson](#)

Massachusetts Institute of Technology (MIT) - Sloan School of Management; National Bureau of Economic Research (NBER)

[Lorin M. Hitt](#)

University of Pennsylvania - Operations & Information Management Department

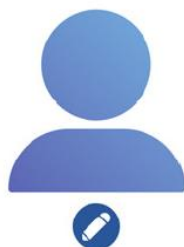
[Heekyung Hellen Kim](#)

MIT - Sloan School of Management

Date Written: April 22, 2011

https://papers.ssrn.com/sol3/papers.cfm?abstract_id=1819486





データビークルM
メンバー

 ダッシュボード

 コンテンツ

 テスト・アンケート

 メッセージ

 通知

テスト

第1問 (全5問)

次へ→

1. 本eラーニングにおいて、DXを成功させる上でデータ活用スキルが重要な理由として説明されていたものを次のうちから一つ選びなさい。

- ☐ DXのDとはデータを意味する頭文字だから
- ☐ どのようなデータを社内に持っているかが競争優位性となるから
- ☒ 変化の激しいビジネス環境において顧客や社会のニーズを理解する上で重要だから
- ☐ データを使ってAIを作るビジネスモデルが社会のニーズに合致するから

次の問題へ→

基本プラン

利用アカウント数	期間	価格	備考
50アカウント	4ヶ月	¥1,100,000	最大50名利用可能
100アカウント	4ヶ月	¥1,980,000	最大100名利用可能

追加プラン

アカウント数	期間	価格	備考
101～	4ヶ月	¥11,000	101アカウント以上の追加は 1アカウント単位で追加可能 価格は1アカウントあたりの追加コスト
501～	4ヶ月	¥5,500	
1001～	4ヶ月	ask	

オプションプラン

オプション	価格	備考
視聴レポート（各月）	¥440,000	毎月各ユーザーの視聴レポートを提出（4回）
視聴レポート（一括）	¥220,000	期間終了後4ヶ月の各ユーザー視聴レポートを提出



